



バドミントン部

MESSAGE バドミントン部女子の皆さんへ

小4で始めたバドミントン。色々な場面で助けられ、学校生活を豊かにしてくれました。バドミントンを通して出会った仲間もかけがえのない宝物でしょう。一緒に過ごした仲間と共に頑張りと、よく遊び、充実した3年間でした。コロナ禍を乗り越え、その絆や経験を大切に、それぞれがより良い人生を送れるよう願っています。(保護者 木下愛美)

2回戦 1-3 (米子東)

- 男子団体 中原 一熙(3-1)・野際 叶太(2-1)組 2回戦
- 男子ダブルス 野際 叶太(2-1) 2回戦
- 男子シングルス ベスト8 3回戦 0-3(境)
- 女子団体 木下 結菜(3-6)・門脇 想(2-3)組 ベスト16
- 女子ダブルス 田中あろは(3-4)・福田 友梨(3-3)組 2回戦

MESSAGE バドミントン部男子の皆さんへ

中学から始めたバドミントンの部活動。部活動を通してたくさんの経験をさせていただきました。コロナ禍の中、これまでにない環境で練習を続け、悔いのない試合ができたのも温かいご指導をいただいた先生方、支えてくださった先輩・後輩の皆さん、そして一緒に頑張った3年生の皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。一生懸命取り組んでいれば成果は必ず出るので、諦めない心でこれからも挑戦してほしいです。(保護者 中原唯史江)



柔道部

- 男子団体 準優勝 決勝 0-4 (倉吉北)
- 男子個人 60kg級 田中 直翔(3-6) 第3位
- 66kg級 澤田 睦月(1-1) 第3位
- 73kg級 田口 英永(3-2) 第3位
- 81kg級 西原 旺祐(2-2) 第3位
- 100kg超級 児玉 颯来(2-1) 第3位
- 安井 智哉(1-4) 第3位
- 女子個人 52kg級 山田 怜果(1-2) 第3位

MESSAGE 柔道部の皆さんへ

3年生にとっては東高柔道部としてのゴールが見えてきました。コロナ禍での窮屈な日々、何と言っても偉大な恩師を失った中で悲しみを乗り越えた日々は経験として心を大きく、必ずやみんなの糧となり成長させてくれています。目の前に広がるあなた達にしか見られない景色。その景色を華やかに彩る為にサポートしてくださった顧問の先生、コーチ、指導していただいた方々に感謝の気持ちを忘れず自信を持って最後まで闘い抜いてください。夢実現! (保護者 エイト母)



ビームライフル部

MESSAGE ビームライフル部の皆さんへ

創部3年目、距離が足らず廊下から教室の標的を狙う部が、中国大会で活躍する姿は本当に誇らしく思います。他の強豪校のように決して恵まれた環境ではありませんが、工夫次第でいくらか練習はできることを、皆さんは結果で証明してくれました。今後も保護者一同、皆さんを応援し、活躍を楽しみにしています。そして、活動を日々支えてくださる先生方、コーチの皆様、本当にありがとうございます。(保護者)

- 男子BR60J団体 第1位 **全国大会出場**
- 男子BP60J団体 第1位
- 男子個人AR60 高藤 滉一(3-3) 第1位 **全国大会出場**
- 男子個人BR60 高藤 滉一(3-3) 第2位 **全国大会出場**
- 楠城 聖生(3-5) 第3位 **全国大会出場**
- 中原 聡(2-2) 第4位 **全国大会出場**
- 山下 洸貴(2-1) 第6位 **全国大会出場**
- 大角 紘輝(2-5) 第7位 **全国大会出場**
- 男子個人BP60 高田 千空(3-5) 第1位
- 坂田 匡弥(3-5) 第2位
- 福田 績求(3-7) 第3位
- 山口 慧(1-3) 第5位
- 女子BR60WJ団体 第1位 **全国大会出場**
- 女子BP60WJ団体 第1位
- 女子個人AR60W 田中 綾音(3-2) 第3位 **全国大会出場**
- 女子個人BR60W 田中 綾音(3-2) 第3位 **全国大会出場**
- 岡村 梨央(1-7) 第6位 **全国大会出場**
- 霜里 風花(1-6) 第8位 **全国大会出場**
- 前田 清花(1-6) 第9位 **全国大会出場**
- 女子個人BP60W 瀬戸 美有(2-4) 第2位
- 川戸 美岬(1-6) 第3位
- 岡村 梨央(1-7) 第4位



国民体育大会ライフル射撃競技鳥取県予選会

AR60 高藤 滉一(3-3) 第1位 **中国ブロック予選出場**

BP60W 瀬戸 美有(2-4) 第1位 **中国ブロック予選出場**



■ 男子 2回戦 1-3 (鳥取城北)

■ 女子 第3位 3位決定戦 0-0 米子 (PK 5-4)

MESSAGE サッカー部男子の皆さんへ

コロナ禍で無観客の県総体。負けて帰宅すると、息子が「12年間サッカーをさせてくれてありがとう」と言い、引退を決めたのだと感じました。息子は、兄を追いかけて小学1年生からサッカーを続けてきました。我が家の生活は常にサッカーが中心でしたが、おかげさまでたくさんの仲間や指導者、保護者に出会うことができました。苦楽を共にした時間は一生の思い出です。頼りないキャプテンを皆で支えていただき、ありがとうございました。仲の良さが自慢のサッカー部、これからもお互いを褒め合い、励まし合い、勝利のゴールを掴みましょう。保護者一同応援しています。(河井峻馬の父)

サッカー部

MESSAGE サッカー部女子の皆さんへ

経験者の少ない年代で勝つことが難しく、さらにいつもとは違う、何かと制約のある毎日の中で、もどかしい思いや様々な悩みを抱えながらも、部活動を通して得た経験や友情、大会に向けて努力したことは、結果がどうであれ、将来につながる大きな財産です。指導してくださる先生方はもちろん、支え合い励まし合ったチームメイトへの感謝を忘れず、目標に向かってがんばってください。(西山百合亜の保護者)



水泳部

MESSAGE 水泳部の皆さんへ

小学生の時から体力作りの為に水泳を続けていましたが、高校の水泳部の練習についていくのは本当に大変だったと思います。それでも先輩方が優しく、とても楽しそうに部活に行っていたのを思い出します。試合の時の緊張感、でもワクワクしながら見ていました。泳ぐ姿は本当にかっこよく素敵でした。部長としては水泳部の力になったか心配もありますが、最後の大会まで悔いのないようやり遂げて欲しいと思います。ご指導いただいた先生方、3年間共に頑張った同級生や後輩の皆さん、本当にありがとうございました。(保護者 渡辺礼子)

- 男子団体 総合成績 5位
- 400mフリーリレー 5位 **中国大会出場**
- 400mメドレーリレー 4位 **中国大会出場**
- 800mフリーリレー 4位 **中国大会出場**
- 岡垣 健(3-6) 50m自由形 3位 **中国大会出場**
- 200m個人メドレー 5位 **中国大会出場**
- 北本 樹輝(3-6) 100m自由形 6位 **中国大会出場**
- 山口 蓮(2-3) 200mバタフライ 4位 **中国大会出場**
- 益田龍之介(2-5) 200m背泳ぎ 5位 **中国大会出場**
- 100m背泳ぎ 5位 **中国大会出場**
- 加藤 永修(1-2) 200m平泳ぎ 4位 **中国大会出場**
- 女子団体 総合成績 3位
- 400mフリーリレー 3位 **中国大会出場**
- 400mメドレーリレー 2位 **中国大会出場**
- 800mフリーリレー 2位 **中国大会出場**
- 澤 杏沙(3-1) 100m背泳ぎ 4位 **中国大会出場**
- 200m背泳ぎ 3位 **中国大会出場**
- 本田 志帆(3-1) 200m個人メドレー 1位 **中国大会出場**
- 400m個人メドレー 1位 **【大会新記録】 中国大会出場**
- 谷口 真凜(2-3) 50m自由形 4位 **中国大会出場**
- 100m自由形 4位 **中国大会出場**
- 山元 綾乃(2-3) 100m平泳ぎ 5位 **中国大会出場**

第44回ジュニアオリンピック 夏季大会 鳥取県予選会

- 本田 志帆(3-1) 200m個人メドレー **標準記録突破 全国大会出場**





MESSAGE バレーボール部男子の皆さんへ

「今しかない大切な日々」2人の兄に憧れて入学した東高。そして2人の兄と共に最高の仲間と眩しく輝く青春を楽しむ姿に憧れて入部したバレー部。たくさんの仲間と囲まれ練習を重ね3年間で心身ともにたくましく成長した姿を見せて貰えたことに感謝。親として伴走出来たかけがえのない日々と時間をありがとうございます!この先の未来、優しさの中に強さを持った大人になってくれる事を願っています。(保護者 清水奈緒美)

■ 男子 準々決勝 0-2 (中央育英) ベスト8



バレーボール部

MESSAGE バレーボール部女子の皆さんへ

『目標 中国大会出場』昨年コロナの影響で果たせなかった先輩たちの思いを受け継ぎ、辛くても諦めることなく、7人が一つになってひたむきに挑む姿を見てきました。新人戦準々決勝、フルセットで逆転勝利し中国大会出場を決めた時のあの感動は最高でした!夢を実現させた貴方たちを誇りに思います。たくさんの笑いと涙、感動をありがとうございます。これからも応援しています!(保護者)

■ 女子 準々決勝 1-2 (米子西) 第5位



演劇部

MESSAGE 演劇部の皆さんへ

入学したばかりの頃、演劇部に入りたいと聞いて少し驚きました。初めての事ばかりで、毎日とても楽しそうに部活動に励んでいましたが、昨年コロナの影響で思うように活動が出来ず、もやもやしていた日々が続いていたと思います。今年度から部長をさせてもらい、まとめていく事の難しさなどを学び、良い経験をさせてもらえたと思っています。本当に3年間、お疲れさまでした。(保護者 竹部真由美)



■ 東部地区高等学校演劇発表会 優秀賞 県大会出場

放送部

■ NHK杯全国放送コンテスト
鳥取県大会
ラジオドキュメント部門
最優秀賞(1位相当)
全国大会出場



英語部

MESSAGE 英語部の皆さんへ

「英語で自己紹介緊張した〜。」と帰ってきたのがつい昨日のことのようです。週2回の活動ではありましたが、英語のコミュニケーションの楽しさ、そしてうまく伝えられないもどかしさは仲間とともに過ごした時間に得た大切な思い出!! 3年生のみなさん、I hope it goes well!! 部員のみなさん、顧問の先生、ジョン先生、ありがとうございます。(保護者)



MESSAGE 放送部の皆さんへ

各種学校行事の司会進行、高等学校総合文化祭・NHK杯全国高校放送コンテストなどへの出場と多岐にわたる活動も、コロナ禍の真只中、行事の中止、大会のリモート開催、感染防止に配慮した日々の活動と制限が多いですね。情勢が厳しい中でも、明るく前向きに出来ることを考え、精一杯頑張る姿勢はかけがえのない貴重な体験。応援しています。(保護者 藤井渉)

邦楽部

MESSAGE 邦楽部の皆さんへ

中学校の体験入学で東高に行きました。邦楽部の見学をし、入学したら東高の邦楽部に入る!と決めて帰ってきました。この3年間、大会に行けることを楽しみに練習に励んできましたが、様々な発表の場がなくなり、とても残念に思います。それもひとつの経験だったと受けとめ、東高卒業までの時間を大切に過ごしてほしいと思います。3年間ありがとうございました。(保護者 田村)

■ 県高文連 音楽 4部門別発表会 優秀賞(2位相当) 近畿高総文祭出場



吹奏楽部

■ 県高文連 音楽 4部門別発表会
独奏の部 児島 佑亮(2-4) 優秀賞(第2位)

書道部

■ 第14回書道パフォーマンス甲子園
中国ブロック予選 第2位 全国大会出場

家庭部

MESSAGE 家庭部の皆さんへ

入学してどの部活に入るか随分迷い出した答えが家庭部でした。姉が入部していたこと、お菓子作りが好きな点が決めた手でした。部活の帰りには「作ったから食べて♡。」といつもおいしくいただきました。高校での部活を通して、食への関心がさらに増し、今後の目標へ励みになりました。先生、友達との良き出会いで充実した3年間だったと思います。ありがとうございました。(保護者 村上美幸)



卒業生からのメッセージ

6月に教育実習生として来られたお二人からメッセージをいただきました!!



この度、母校である鳥取東高校に教育実習生として3週間お邪魔させていただきました。大変な状況の中、貴重な経験をさせていただき感謝の気持ちでいっぱいです。東高生の皆さんはとても明るく、実習中に何度も元気づけられました。ありがとうございます。

大学では理学部数学科に所属し、数学について学んでいます。実は、高校生の時には数学科に進むことをあまり考えていませんでした。私の高校生活は、ずっと進路に悩んでいた3年間です。3年間悩みとおした挙句、入試まで学部を決められず、北海道大学の総合入試で進学しました。総合入試は入学時点で学部学科に所属せず、一年次の終わりに配属が決まります。配属決定の際には高校で悩んだ経験がとても役立ちました。高校時代はずっと悩んでいましたが、悩む中で様々な経験をし、本

北海道大学理学部数学科 4年 堀 浩大さん

や大学のHPから情報を手に入れ、友人や先生に何度も相談していました。あの時、手と頭を動かし続けたから今の私があると思います。

東高生の皆さんも進路で悩むことがあると思います。そんなときには、ちょっと大変ですが、色々やってみましょう。たくさんの経験や知識はいつかどこかで自分の助けになると思います。友人や先生と色々なことを学ぶ中で自分を知り、これからの進路決定に役立ててください。良い高校生活を送ってください。応援しています。



山口大学人文学部人文学科歴史コース 日本史近現代ゼミ所属 西川 弘毅さん

こんにちは! 3週間母校の鳥取東高で教育実習ができたことはよい経験になったと思います。みなさんと話したり授業を行ったりすると私の高校時代を思い出して懐かしい気持ちになりました。私は友達が多い部類ではなかったので今の皆さんを見て少しくらやましく思います。

さて、私の大学生活を少しお話しすると、一・二年生では大学祭実行委員の宣伝担当をしていました。内容としては、山口市内のお店を回ってカンパを募ったり大学祭のパンフレットを作成したりと普段経験できないような裏方の仕事をさせてもらいました。また学部では歴史コースの日本史近現代ゼミに所属しています。私は小学校の頃から日本史が好きでもっと専門的なことを学びたいと思ったからです。この委員会やゼミの同級生、先輩、後輩皆がとても賢く良い人たちです。皆さんも大学に入ると素晴らしい大学生活が待っていると思います。

最後に、一人で生きていくことは社会で生活している私たち人間にとって難しいことです。そこで知り合った人を大切にしてほしいと思います。私が参観させてもらった授業のことわざ「袖振り合うも多生の縁」。この縁を大切に高校生活を送ってください!



鳥取東高100年の歴史を残す ～校史資料提供のお願い～

本校は来年度、学校創立百周年を迎えます。

その記念事業の一環として、校史編纂を計画しております。

皆様の鳥取二中・東高時代の学校生活及び部活動等に関する資料、写真や情報をお持ちの方、ご提供いただけるものがありましたら、記念事業実行委員会までご連絡ください。大変ありがたく思います。

〒680-0061

鳥取県鳥取市立川町5丁目210

鳥取県立鳥取東高等学校 内

鳥取東高 創立百周年

記念事業実行委員会 記念誌部会

TEL: 0857-22-8495

FAX: 0857-22-8497

E-mail: torie-h@mailk.torikyo.ed.jp



進路部から保護者の皆さまへ



進路部長

田 中 典 之

2021年度の進路状況の概要(表1・2参照)

進学については、鳥取大学の57名をはじめとする国公立大学207名(前年度172名)、私立大学352名(同328名)、短期大学23名(同15名)、専修学校等58名(同43名)という合格者数でした。難関国立大学につ

表1.2021年度入試合格者内訳

		3年	既卒	計
卒業生数		277		
延合格者数		461	179	640
内訳	大 国 立	111	33	144
	公 立	58	5	63
	私 立	216	136	352
	短 大	20	3	23
	専修学校等	56	2	58

いては、北海道大学1名、東北大学1名、大阪大学3名、神戸大学2名、九州大学1名、鳥取大学医学部医学科1名の計9名でした。目標とした10名には届かなかったものの、15名が受験をしており、上位者育成の成果が出てきていると感じています。また、最後まで5(6)教科に取り組んだ生徒が多く、最後まで諦めることなく粘り強く受験に向かったことが国公立大学の合格者数を大きく伸ばした要因の1つだと考えています。

私立大学の合格者数も増加しましたが、近年続いていた私立大学の合格者の絞り込みが少し落ち着いてきた印象を受けます。しかしながら、特に都市圏の私立大学を中心に依然として合格が難しく、生徒が行きたい大学へ合格するためには確かな学力が必要であることには変わりありません。

短期大学合格者のうち10名が地元の鳥取短大。その他は近畿圏(三重含む)と中国圏の短大です。近年は、4年制への移行が散見されます。そして、専修学校・各種学校については、看護・医療系への進学が大半です。

就職者は4人で、全員が公務員でした。内訳は、鳥取市職員1名、鳥取県警察2名、東部広域消防1名です。日々の授業への取り組みを大切にしながら、意欲的に公務員用の問題や適性検査の練習に早くから取りかかった成果だと思います。

表2.主な大学合格者内訳

国公立大学(207名)			
北海道大	1	奈良教育大	3
東北大	1	奈良女子大	1
埼玉大	2	鳥取大	57
東京外大	1	島根大	22
東京芸大	1	岡山大	12
金沢大	1	広島大	6
信州大	1	山口大	3
大阪大	3	愛媛大	4
大阪教育大	2	高知大	6
神戸大	2	九州大	1
その他の国公立大学			
長崎大	2		
埼玉大	3		
公立鳥取環境大	16		
島根県立大	12		
新見公立大	4		
岡山県立大	3		
下関市立大	3		
その他の国公立大学	34		
私立大学(352名)			
専修大	1	龍谷大	35
京都外大	9	関西大	9
京都産業大	41	近畿大	39
同志社大	1	摂南大	10
立命館大	10	関西学院大	4
甲南大	6		
神戸学院大	13		
鳥取看護大	5		
その他の私立大学	169		

進路実現に向けた夏季休業期間の過ごし方

例年、約90～95%の生徒が4年制大学を志望しており、そしてその大半が国公立大学を志望しているため、大学進学に向けた話をします。1年生はまだはっきりとした志望先を決めていない生徒が多いですが、夏季休業明けからは普通科文系・理系と理数科の3コースでのコース・科目選択が待っており、夏季休業期間を利用して進路について十分に検討する必要があります。その際、今の成績で決めるのではなく、何をどこで学びたいのか、将来はどのような人生を歩みたいのかなど、子どもの目指すべき方向をしっかりと見極めることが大切です。そのとき保護者にできることは、「我が子に適切な進路とは何なのか」ということを、今まで育ててきた中で感じる我が子の適性を踏まえつつ、人生の先輩という立場から子どもと一緒に考えることだと思います。それは2・3年生も同様です。単なる大学名や偏差値での進路選択ではなく、大学でどんなことを学びたいのか、大学でどんなことが学べるのかを知ることが重要です。それが見えるほど目標が明確になり、勉強に向かう気持ちは強くなります。以前は、夏季休業を利用してオープンキャンパスへ参加してみるなど、実際に大学を見たり体験したりすることでモチベーションを上げる機会がありましたが、現在のコロナ禍ではなかなか難しい面があります。オンラインでのオープンキャンパスや夢ナビなどを活用して、できる取り組みを生徒にはしてほしいと思います。知らなかった世界や気づかなかった能力の発見に繋がるかもしれません。

2年生は、よりしっかりと具体的に志望校について考え、科目選択をしていかないとはいけません。安易な科目選択は進路選択の幅を狭くし、合格可能性を低くしてしまいます。そして、早期に苦手科目の克服に全力を注ぐべきです。苦手科目は、想像以上に足を引っ張ります。

3年生は、もう脇目も振らず一心不乱に勉強あるのみです。夏季休業のまとまった時間をどう使うかで、その後の学校生活や成績が大きく変わってきます。この春の卒業生のある生徒は夏季休業直前に、「夏休みを利用して、分からない〇〇を復習してみます!」と言っていました。夏季休業が明けて話をしてみると、「まだまだですけど、なんとなく分かってきました。」と言い、模試でも30点ほどだった成績が60点くらいに伸びはじめました。そして、その後はうなぎ登りで成績が伸び、共通テストでは目標点には届かなかったものの、それでも第1志望に出願して見事合格しました。夏季休業の取り組みがあったからこそ、模試の成績に表れる以上の伸びが着実にあったのだと思います。

夏季休業は、このように大きく変わるチャンスです。本気で取り組み、大きく変わることができます。諦めることなく、本気でやれるかどうかです。子どもがどのようなことに興味・関心があるのか、将来どのような職業に就きたいのか、適性はどのようなのかなど、冷静に親子でじっくりと話をさせていただく機会にしていただけたらと思います。そして、必死に最後まで頑張る我が子を、陰ながら支える親であっていただきたいと思っています。子どもより先に音を上げるような親ではいけません。

今年度の進路部担当教職員

- 第1学年…… 富林 紀之(1年6組担任)、大西 真理(1年7組担任)
- 第2学年…… 中村 貴子(2年2組担任)、山口 優介(2年4組担任)
- 第3学年…… 菅生 涼子(3年4組担任)、乗原 崇(3年7組担任)
- 進路部専任…… 田中 典之(進路部長)、矢部 敦子(3年担当)、笠本 直子(2年担当)
- 田中 健太(1年担当)、秦野 大樹(就職)、圓井 恵子(庶務)

今年度、進路を担当する教職員をお知らせいたします。

何かお尋ねになりたいことがありましたら、ご連絡をいただければと思います。





東雲橋縁起

一年保護者 玉野 俊雅
正門に続く道中にある東雲(しのめ)橋。

この橋ができたのは昭和の末期、私が高校二年を無事修了しようとしていた昭和六十三年三月のことである。それまでなかったことが不思議でもある。この橋の名前を命名する権利を得た当時の東高生の多くが「東雲橋」と書いたことがこの橋の名前の由来だと、当時先生は仰った。

昔から東高生は真面目なのだ。当時私は吹奏楽部で生徒指揮者をしており、この橋の竣工式の式典演奏を任され、フィルモア作曲の超ご機嫌なマーチ「サーカス・ビー」を演奏した。その演奏を聴かれた来賓や地域住民の皆さんの笑顔は今でもはつきりと覚えている。実はこの「サーカス・ビー」の楽譜。私が高校一年生のとき、当時の吹奏楽部顧問・西川昭雄先生(故人)に「先生、絶対やりたい曲があるんで楽譜買ってください」と懇願したものを聞き入れてくださったもの。当時飛行機便はとて高価だったため、注文から約一年かけて船便でやってきたのである。何でもスピード勝負の今と違い、昔は待つことも喜びがあったのかも。いまでも私は東雲橋を渡るとき、サーカス・ビーを口遊む。

憧れの存在

一年保護者 松岡 智也
息子が通う中学校には柔道部がなく、縁あって東高を練習拠点に柔道を続けてきました。

当時の東高柔道部は県内無敵であり、中国大会においても団体で二年連続入賞を果たす程の強豪でした。強いだけでなく、礼儀正しく、いつも練習に真摯に

打ち込んでいた高校生の姿は、当時中学生の息子には憧れの存在であり、その時すでに希望進路は鳥取東高が絶対となりました。

この春、無事入学を果たし、東高の刺繍が入った柔道着に着る姿は、アンダーアーマーの仲間入りとなりました。日々の授業、家庭学習、部活、その他もろもろ高校生ともなると忙しく、毎日こなす事が精一杯の状態のようです。憧れの先輩と同じ高校の状況を見比べ、どう感じるのだろうか。道場に貼ってある「偽りのない練習」という言葉。目指すべき姿に迫り着くには、誰かに言われてするのではなく、自分自身に偽ることなく向き合うことが大切だということではないだろうかと思えます。

憧れの存在を思い出し、今度は憧れの存在となれるよう頑張ってください。とはいえ、そこは東高生らしく学校行事などにも友達と全力で楽しめる素敵な高校生活を送ってこれればと願っています。

高校生になり、思うこと

一年保護者 石田 淳子
去年の春はちょうどコロナ感染症が流行し始め、休校、分散登校と、とても不安な中で中学三年生のスタートでした。勉強の息抜きに旅行や外食を楽しむこともなかなかできず、少し窮屈な受験生活だったと思います。親の方があれこれ心配ばかりしていましたが、子どもの方は、四月になったら高校生になることだけを目標に、まっすぐ前を向いて頑張ってくれました。

無事憧れの高校生になり、ほっと一息です。新しい友達もでき、学校も先生も面白い、と新鮮な毎日を楽しんでいます。自分を高生を見ると嬉しくなります。自分が高校生だった時を振り返っても、出逢った先生方、友達、思い出は今でも懐かしく思い出され、打ち込んだことは大切な財産となっています。これから三年間の貴重な高校生活を送る存分楽しみ、頑張ってくださいと思います。そして、次の目標に向かって前に進み、素敵な大人に成長してくれることを願っています。

成長を願う

一年保護者
東高へ入学してあつという間の二ヶ月、わが子はようやく学校生活に慣れてきたようだ。

このコロナ禍に貴重な学生時代を過ごす子ども達は内心とても気の毒だと思ふ。中学三年生の昨年度はあらゆる行事や大会等が中止になり休校期間も長かったため、クラスのメンバーとも関わる時間や機会が少なくあまり仲良くないまま卒業を迎えたようだった。しかし、良いこともあった。人といると明るいキララを通してというわが子は、一人で過ごす時間が増えたことでストレスが和らぎ良い顔になった。また、他人と比較することがなくなり勉強も淡々と自分のペースで頑張ることができ、自分と向き合う良い機会になったのだらうと感じた。

あまり自分のことは語ってこないわが子が将来のことについては漠然と考えたのだと思う。昨年、将来父の手伝いがしたいと東高を志望校に決めた時は心底驚いた。無事合格でき家族中で喜んでお祝いした際、父からこんな言葉かけられた。

「この先どこに行っても、こんなはずじゃなかったと思うことがある。そこでどれだけ頑張れるかが勝負だ。簡単に諦めたり逃げたりする前に努力することが大事だよ」

高校生になると親は遠巻きに見ていることが多いが、このコロナ禍でできることを探して頑張ってください。貴重な高校生活、楽しみに成長を願う。

チャンスへ飛び込んで

一年保護者
ほんの少しの不安と、それをはるかに上回る期待を胸に、あこがれの東高生としての生活が始まりました。幼なじみや習い事の友達との再会もあり、早々に緊張もほぐれ、昼食時には、話が盛り上がり過ぎて時間が足りないくらいと聞いて、迷わず入部した陸上部では、中学校とは違う本格的な練習や細やかな顧問の先生の指導、そして熱心に取り組む先輩の姿に影響され、すぐにやる気スイッチ

が入り、毎日部活動のことで頭がいっぱい。先日、補助員として参加した大会では、男子一〇〇mの日本新記録達成の瞬間に立ち会うという、貴重な体験もさせて頂きました。

高校生になると、学内・外を問わず、様々な経験をさせていただく機会が数多くある事と思えます。あまり気が進まない事も含めて、与えられたチャンスには、思い切って飛び込み、成功も失敗もたくさん経験して欲しいと思います。そして様々な経験を通じて、多様な価値観に触れ、自分の世界をどんどん広げていくことを願っています。

親が子に教えるばかりだった関係から、我が子から教えてもらうことも多くなったような気がする頃。我が子の経験が、私の世界もまた広げてくれることにワクワクしています。

勉強に関しては、不安を上げれば足りませんが、まずは毎日元気に学校へ行くことが大事かなと思います。しばらくは見守っていきましょう。

諦めない

一年保護者
「東高を受験したい」
昨年の夏の終わり、息子からその言葉を聞いたとき息子には申し訳ないですが驚きました。中学三年生になってからも、週に三、四回の陸上クラブチームでの練習を欠かさず、勉強をしている気配がなかったからです。なぜ東高を受験したいのか何度も聞きましたが、担任の先生からも聞かれたそうです。そこで息子が「東高に入学して陸上部に入りたい」という明確な志望動機を持つていることを知りました。

思えば小学二年生から始めた陸上。中学校には陸上部がなく三年間残念な思いをしていました。でもそこであきらめず、クラブチームでの練習を続け、高校生になった東高陸上部に入るといふ夢に向けて頑張る覚悟ができたことのできた。

担任の先生からは、成績を見て進路変更を勧められたそうだし、三者懇談でも東高は難しいといわれていました。し

かし、その言葉を聞き息子のスイッチが入り、最後の三者懇談では東高受けました。息子は、毎日充実しているそうです。何よりも部活の時間が待ち遠しく一番楽しいそうです。親としては勉強も、でもよい先生方、よい先輩、よい仲間に出会わせてもらったのも、あの時諦めず頑張ったあの日があったからこそです。

小さい時から続けた陸上を結果が出ないからと諦めて辞めたりせず、高校受験でも先生に無理だといわれても諦めなかったわが子を誇りに思います。これからもいろんな困難が待ち受けていますが、今まで通り諦めず前に進んでください。

力惜みずに

一年保護者
外国語、独自に勉強してみたい分野、部活。入学前から、娘は高校生活でやりたいことをたくさん挙げていました。幸い、明るく話しやすいクラスメイトや部活の仲間、面白い先生(娘談)に囲まれ、忙しいながらも笑顔の多い学校生活を過ごしています。決して人前に出ることが得意な子ではないですが、友人や家族を思いやる姿や、自ら新しいことを見つけて楽しむ姿に成長を感じ、とても感謝しています。

同時に、将来への道を必死に探している最中であらう娘に伝えたいことがあります。高校三年間で得られる人とのつながりや経験は、これからの人生のかけがえのない財産になる。だから、自分が興味を持ったことはもちろん部活も勉強も、惜しまず力を注いでください。壁におつかうこともあると思います。でも、自分で考え抜いて自分で道を見つけていけるようになります。悔いのない時間を過ごして、思い切り悩んで楽しんで！母は、いつでも見守り応援しています。

鳥取東高通信186号に写真、原稿等で協力いただいたみなさまに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

文化広報部一同